

デジタルアーカイブフェス 2023 の概要について

日時

令和5年8月25日（金）10:00～16:30

オンライン開催

イベントタイトル

デジタルアーカイブフェス 2023 ～デジタルアーカイブで地域の価値を再発見する～

開催趣旨

コロナ禍においては、様々な分野の創作活動や知的活動を支えるデジタルアーカイブの役割が広く再認識されました。あわせて、音楽、映像、書籍をはじめとした過去作品のデジタルアーカイブ化等へのニーズも高まっています。さらに多様な UGC の創作・発信の拡大ともあいまって、社会全体におけるデジタルコンテンツの蓄積が、日々拡大しています。

一方、我が国のデジタルアーカイブ利活用の分野横断プラットフォームであるジャパンサーチは、2020年8月の公開以来、様々なデジタル情報資源を網羅的にナビゲーションできるよう、連携先の拡大などに努めており、特に、地域の文化的資源や自然科学系分野などのデジタルアーカイブとの連携拡充には、注力をしているところです。また、昨今のデジタル時代の進展により、情報資産としてのデジタルアーカイブのもつ意味が、ますます大きくなっています。日本各地に存在する様々なアーカイブについても、デジタル化し、他のアーカイブとも結びつけ、横断的な利活用を可能にすることで、より多くの新たな価値を生み出せるものとなります。

このような環境の中、産学官の関係者が一堂に会し、デジタルアーカイブジャパンの推進に向けた先進事例の紹介や好取組の顕彰等を行う「デジタルアーカイブフェス」を開催します。デジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会の実現を目指して、本イベントを通じ、デジタルアーカイブによる地域振興に資する情報の共有を図るとともに、デジタルアーカイブ利活用の輪をより一層広げていくよう、幅広い関係者の連携促進を図ります。

プログラム

【開会】

主催者挨拶 デジタルアーカイブジャパン推進委員会議長／内閣府副大臣 星野剛士

【第 I 部】 シンポジウム 10:05～12:00

(1) パネルディスカッション 「地域アーカイブの可能性—地域価値の再発見と活用—」

(モデレーター)

上智大学文学部教授 柴野京子

(パネリスト)

みんなの森 ぎふメディアコスモス 吉成信夫

大分県大分市教育委員会教育部文化財課 串間聖剛

鹿児島県日置市総務企画部地域づくり課 重水憲朗

(2) デジタルアーカイブジャパン・アワード 2023 表彰

進行：実務者検討委員会座長／国立情報学研究所名誉教授 高野明彦

(休憩) 12:00～13:30

【第Ⅱ部】 地域におけるデジタルアーカイブの構築・連携等 13:30～15:00

(3) ジャパンサーチとの連携について（概要と連携方法等）

国立国会図書館

(4) 地域アーカイブの域内連携・活用及びジャパンサーチとの連携事例報告

○長野県上田市「上田市デジタルアーカイブ」

上田市マルチメディア情報センター 井戸芳之

○縄文遺跡群世界遺産本部「JOMON ARCHIVES」

縄文遺跡群世界遺産事務局 鹿内翔平

○神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ「新聞記事文庫」

神戸大学附属図書館情報管理課 守本 瞬

○栃木県「とちぎデジタルミュージアム SHUGYOKU」

栃木県生活文化スポーツ部 和久征夫

○福岡県福岡市「福岡市デジタルアーカイブ」

福岡市経済観光文化局文化財活用部 福藺美由紀

(休憩) 15:00～15:15

【第Ⅲ部】 産業界におけるデジタルアーカイブの活用等 15:15～16:15

(5) デジタルアーカイブを活用した地域振興の可能性

○デジタルアーカイブと地域資源のマッチング・観光活用による価値向上

～アニメ聖地巡礼 訪れてみたい日本のアニメ聖地 88～

一般社団法人アニメツーリズム協会専務理事 鈴木則道

○メタバースにおける地域アーカイブの活用と地域創生について

～バーチャルトラベルプラットフォーム ANA GranWhale～

ANA NEO 株式会社事業開発部リーダー 松尾英樹

【閉会】

主催者挨拶

国立国会図書館 副館長 片山 信子